



結核しずおか

45号 2019年9月25日

発行・編集

公益財団法人 静岡県結核予防会
〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町 6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu.ha@gaea.ocn.ne.jp

HP www.jata-shizuoka.org



巻頭言

平素より、静岡県結核予防婦人会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当婦人会はこの令和元年、創立60周年を迎える運びとなりました。これもひとえに、皆様方の厚いご支援によるものと、重ねて感謝申し上げます。

今でこそ、「結核」は治療可能な病気となりましたが、当婦人会が発足した昭和30年代までは、「結核」は高まん延期であり「亡国病」と呼ばれておりました。現在では、「結核」に「亡国病」というイメージはなく、「昔はやった不治の病」という程度の認識ではないでしょうか。したがって、「結核」は自分とは無縁なものと無関心になっているのではないのでしょうか。しかし我が国、我が県の実態が、今もって中まん延状況を脱していないことを思う時、当婦人会の活動の中心である「結核予防の普及啓発」が現在も必要不可欠だとますます痛感させられます。発足当時から官民協力のもと、結核対策の一助となる活動に努めてまいりました。当婦人会は、60年間積み重ねてきた活動のノウハウに加え、各支部には、結核予防のみならず、広い分野で地域活動に関わっている会員も多くおられることから、そのノウハウを活かし、行政の力が及ばない分野でのきめ細かな活動の可能性があると考えております。60年の節目を迎え、今一度早期発見、早期診断、早期治療を目指した「結核予防の普及啓発」活動の在り方を考えてみたいと思います。



そのために、日本に弥生時代からあったと言われている結核の辿った歴史を振り返り、「結核ゼロ社会」の達成には、結核を取り巻く医療の進歩に伴う治療への対応、多様化する社会的背景など、変わり続ける結核について学んでいく必要があります。そして、学んだことを、医療関係者、集団生活者、一般の方々など多くの人々に伝え、知ってもらうことが重要です。結核は今なお現代の病気です。「無関心や油断は禁物です」と訴え続けていきましょう。

当婦人会は、結核予防に限らず、多くの人々の健康増進に寄与できるよう、各支部の皆さんと共に、その時代に相応しい活動を展開していきたいと思っております。

何卒、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

静岡県結核予防婦人会 会長 長野 蝶子

社会福祉法人 明光会

ふじのくに健康づくり推進事業所宣言をして

社会福祉法人明光会は創立 59 年を迎える障害者（主として知的障害）の方の総合的な支援を行う事業所です。200 名を超える利用者様の生活を約 100 名の職員が支えています。職員が健康的に働き続けられるために結核予防会様で年 1 回（夜勤従事者は 2 回）の健康診断を行っています。明光会では全国協会けんぽ様の勧めでふじのくに健康づくり推進宣言として“定期的に運動、食生活に気を付け健康維持を心がけます”を目標に健診結果で改善の必要がある職員には法人内の健康づくり推進センターの看護師より指導を行っています。

明光会では 17 の事業を行っており、利用者は 7 歳～78 歳の利用者が福祉サービスを利用されています。日常の活動のほかに明光祭・文化祭・運動会など法人全体の行事や各事業所でのイベントや行事などを通して表現の場の提供や生活の楽しみを感じていただけるようにしています。



第59回文化祭
令和元年7月12日(金)
市民文化会館中ホール



第58回運動会
平成30年9月15日(土)
北部体育館



第58回明光祭
平成30年11月3日(土)
ツインメッセ静岡

(※今年の運動会は9月7日、明光祭は11月4日に前回と同じ会場で行います。)

○地域貢献事業への取り組み

平成 28 年 6 月から地域貢献事業として高齢者や障害者世帯のお宅に訪問して草刈りを行う活動を始めました。親しんでいただけるように「カトリック」とネーミングを付け、ご依頼があれば無償で訪問し作業しています。利用した方からはとても丁寧な作業をしてくれて本当に助かりましたとお礼のお言葉も頂き利用者のやる気アップにつながっています。

ビフォー



アフター



○障害者の働く場所の提供

パン工房あしくぼの地域常設店、県庁 2 階の喫茶ぴあ～、総合庁舎地下 1 階の Southぴあ～を通して障害をお持ちの方の就労をサポートしています。誰でも気軽に入れるお店となっていますのでぜひお立ち寄りください！



パン工房あしくぼ
足久保口組にて営業中



Southぴあ～
平成30年4月9日(月)
総合庁舎(駿河区有明) open



喫茶ぴあ～
静岡県庁2階で営業中!



★結核の基礎知識★

「結核」ってなに??

皆さんは『結核』についてどのようなイメージをお持ちですか。

- ・昔流行した病気??
- ・聞いたことはあるけれどはっきりわからない…

そのように感じる方も多いのではないのでしょうか。

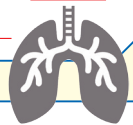
たしかに『結核』は、古くはエジプトや中国のミイラにも感染したあとが残っているほど昔からあったといわれている病気ですが、決して過去の病気ではありません。

実はいまでも日本で1日に42人もの新しい患者が発生し、そのうち6人が命を落としています。『結核』は、現在においても日本の重大な感染症なのです。



どんな病気?

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。最初は風邪に似た症状で始まりますが、タンのからむ咳、微熱・身体のだるさが2週間以上続いている場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



どうやってうつるの?

結核は咳やくしゃみなどの空気感染によりうつります。結核菌の混ざったしぶきが咳やくしゃみと一緒に空气中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで感染するのです。食器などの『物』を介してうつることはありません。

また感染した場合でも、通常は免疫力により増殖が抑えられるため、結核菌は身体のなかで休眠状態になります。免疫力が勝っている場合は、結核菌が休眠状態のまま一生発病しないこともあり得ます。

予防するには?

結核の予防には、健康的な生活を送ることがいちばんの近道です。適度な運動、十分な睡眠、バランスのよい食事を心がけましょう。あわせて、症状の重症化や周囲への感染を防ぐため、毎年定期的に健康診断を受診しましょう。

感染してしまったら?

結核と診断されても、6～9ヶ月毎日きちんと薬を飲めば治ります。ただし、治療の途中で薬を飲むのをやめると完全に治りません。結核菌が抵抗力をつけ、薬が効かない耐性菌になることもあります。症状が消えても、完治のため必ず薬を飲むようにしましょう。



医療や生活水準の向上により、結核は薬を飲めば完治できる時代になりました。しかし、現在も新たな患者が発生している深刻な病気であることに変わりはありません。過去の病気ととらえず正しい知識をもち、感染予防や治療など適切な対処に備えましょう。



総務課 大澤



平成31年度 結核奨励賞受賞

平成31年3月14日、静岡県中部健康福祉センター相談部育成課保健師の藤田登志美様が、第91回日本結核病学会総会に於いて「潜在性結核感染症の治療成績判定基準作成及び治療成績に関する検討」、60回日本リウマチ学会総会・学術講演会に於ける「免疫抑制療法における潜在性結核感染症の適正な医療の提供に対する直接服薬確認療法(DOTS)の影響について」の研究が、公益財団法人結核予防会より、結核医療技術の改善についての研究は結核に関する技術の向上に寄与して、結核予防に貢献するところ顕著なものが認められ、結核研究奨励賞を受賞されましたので、ご報告させていただきます。



川勝知事を表敬訪問

結核のない世界をつくるために!!



静岡県結核予防会の萩原理事長・又平常務理事と静岡県結核予防婦人会長野会長・井出副会長・原副会長が8月6日に川勝知事を表敬訪問いたしました。

萩原理事長から、8月1日から開始されている複十字シール運動は、結核や肺がんなど呼吸器系の疾患をなくして健康で明るい社会を作るため、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集める活動であること、また、わが国の結核の現状は、平成29年中に新たに結核患者として登録された人は16,789人で、人口10万人当りの罹患率は13.3、静岡県の結核の状況は、新たに結核患者として登録された人は424人で、人口10万人当りの罹患率は11.5であり、**全体としては減少傾向ではあるが、減少幅は小さくなっており、依然として結核の中まん延国として位置付けられていることを伝えました。**また、厚生労働省は、東京オリンピック・パラリンピックの開催される2020年までに、罹患率を10以下を目指すことを宣言し、官民の連携を持って推進することが約束されていることも伝えました。

結核予防婦人会の長野会長からは、結核の特徴として高齢者の割合が高く、この年代の結核検診の受診数を増加させ、孫の世代に結核菌を残さない健康で明るい社会を作るため、県内の婦人の力を集約させて結核予防の普及啓発の実施と、複十字シール運動の実績を伝え、川勝知事にさらなる協力をお願いしました。



結核をなくすための 複十字シール運動にご協力をお願いします

運動期間 **8月1日～12月31日** 静岡県募金目標額 **670万円**



公益財団法人結核予防会では「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。静岡県は670万円を目標に実施します。

皆様の温かい善意の収益金は、結核予防思想の啓発活動、発展途上国の結核対策援助等の緒事業に充当させていただきます。

今年も複十字シール募金へのご協力をお願いいたします。

結核予防週間 9月24日から9月30日

今年の結核予防週間は、「結核の制圧」に向けて、国民一人一人に理解と協力が得られるように知識を深め、結核対策の推進に一丸となって取り組むことが必要であります。

普及・啓発イベント実施の報告とご案内

- 4/12 (金) ベビーフェスタ 2019 / 杏林堂
- 6/15 (土) おやま健康フェスタ 小山町総合体育館
- 9/15 (日) ゆらら健康まつり 静岡市健康増進館ゆらら
- 9/28 (土) 結核予防週間キャンペーン アピタ静岡店
- 10/12 (土) 静岡元気応援フェア 2019
- 10/26 (土) 伊豆市社会福祉大会 修善寺生きいきプラザ
- 10/27 (日) 熱海市健康まつり 熱海市健康福祉センター

Over half of the young people with tuberculosis in Japan were born outside of the country.

在青少年人群中，外國出生的人占結核患者人數的一半以上。

Di kalangan usia muda, lebih dari separuh penderita tuberculosis merupakan mereka yang lahir di luar negeri.

結核を正しく知ってもらうため、10言語対応でデジタルブックを用意しました。We have prepared a digital book in 10 languages is prepared for you to get a good understanding of tuberculosis. 既に準備済み。10言語対応のデジタルブック、お手持ちのスマートフォンでダウンロードしてご覧ください。

公益財団法人結核予防会 公益財団法人結核予防会 公益財団法人結核予防会

● 県・各市町の健康まつりなどで、当会職員の参加（普及啓発活動・追加住民検診）、シールぼうやの派遣をしています。

お問い合わせは、総務課 鈴木まで

なぜ・なぜ・なあに？

胸部レントゲン写真でわかること！

健康診断などで皆さんがよく撮影する

胸部レントゲン写真からわかることについてお話ししたいと思います。

でも、まずその前にそもそも胸部レントゲン写真とは何なのか簡単にご説明します。

胸部レントゲン写真とは、胸部の臓器の形や病変をチェックするために、X線を照射して濃淡の像を映し出す写真をいいます。



胸部レントゲン写真で映し出されるもので一番よく見えるものは何でしょう？

それは皆さんご存知なところでは肺ですよ。その他にもいろいろ見えています。

では順に上げていきましょう。まずは、心臓、そして大動脈、気管支、肺血管、横隔膜、肋骨、鎖骨、脊椎などがあります。この映し出された画像からどのようなことが読めるのか簡単ですがご説明していきます。

肺から読み解けるもの、皆さんがすぐに思いつくものでは肺がんでしょうか。その他には、気胸(ききょう)〔肺から空気が抜けて萎んだ状態〕、胸水(きょうすい)〔胸部に通常存在しない水がたまった状態〕、胸膜癒着(きょうまくゆちゃく)〔胸を包む胸膜に炎症が起こり周囲に癒着した跡〕、胸膜肥厚(きょうまくひこう)〔肺を包む胸膜が厚くなった状態〕など肺だけでもここに書けないくらいの情報があります。

次に心臓、心陰影(しんいんえい)の拡大〔心臓の陰影の横幅が胸の横幅の50%よりも大きくなっている状態〕、右胸心〔本来は胸部の左側にある心臓が右側にある〕。大動脈、右側大動脈弓(みぎそくだいどうみゃくききゅう)〔大動脈弓が、正常な場合とは逆に右後方に向かい、脊椎の右側を下降している状態〕。気管支、気管狭窄〔気管が狭くなった状態〕。横隔膜、横隔膜の挙上〔横隔膜が上にあがっている状態〕。肋骨、鎖骨、脊椎、脊椎側弯〔背骨が、左右どちらかに弯曲している〕肋骨骨折、などあり、肺と同様にたった一枚の胸部レントゲン写真から得られる情報が非常に多くありとても有効であることがわかりますよね。ご自分の健康を知る上でまずは最初に胸部写真を撮影して何か問題があればもっと詳しく検査を行っていくことが非常に重要になります。

皆さんも年に一回の健康診断は必ず受けてくださいね。

検診課 鈴木

日本郵便 年賀寄附金分配金により車両導入



日本郵便年賀寄附金配分金により、車両購入金の一部の補助をいただき、ワンボックス車の整備をし、令和元年6月25日に、納車されましたので、ご報告いたします。

高齢化が進む現在、老健施設における寝たきりの方などの検診は増えつつあります。

機動性にとんだ本車両にて、機材やスタッフの搬送を行い、これまで以上に効率的な出張に努め、県民の皆様の健康増進をめざします。





知って予防、みんなで安心! 結核予防会の本



結核予防会では一般及び専門職向けに書籍を出版し、結核に関する知識の普及に努めております。
9月24日から9月30日は結核予防週間です。
ぜひこの機会にご購読いただき、結核に関する正しい知識を深めてみてはいかがでしょうか!

新刊 令和1年9月発行

結核展望は、結核に関する新情報! DOTSのこと、研究、動向、調査、業務等をすべて網羅。日々欠くことができない雑誌!



保健師・看護師の結核展望113号
定価: 2,052円(税込)
年2回(夏・年度末)発行
定期購読が出来ます。

一般向け 普及啓発パンフレット

患者・ご家族の方に!
イベントの配布資材や
研修会の資料として!



結核の常識2019
無料でご提供いたします!

研修会の資料として 大活躍



結核?! でもきつと大丈夫!
定価: 248円(税込)

施設内に1冊あると安心!



平成30年改訂版 感染症法における
結核対策保健所・医療機関等における対策実施の手引き
定価: 4,860円(税込)



そのほかに
教科書タイプの結核病学シリーズ・法令・
統計検査関係の書籍をそろえております!
くわしくはぜひHPをご覧ください。

ここへアクセス!



予約注文承り中!



結核の統計2019
(年1回発行)
定価: 3,240円(税込)



注文・お問い合わせ先
公益財団法人静岡県結核予防会
TEL:054-261-2512 FAX:054-261-9474
E-mail tb-shizu.ha@gaea.ocn.ne.jp
URL http://jata-shizuoka.org 総務課 杉山 まで



題字: 田中 隆(元当会職員)